

【中学校・3年・道徳科・「ぼくの物語あなたの物語」(C公正、公平、社会正義)】

育成を目指す資質・能力

B1 (個に応じる学習)

C1 (発表や話し合い)

黒人作家ジュリアス・レスターの人種差別問題についてのメッセージを通して、差別や偏見のない社会を築くために大切な心について考えさせ、公正、公平な行動をとっていかうとする判断力を育てる。

ICT活用のポイント【活用したソフトや機能】 学習支援ソフト 表計算ソフト

- ・学習支援ソフトを用いて、お互いの考えを共有することで、多角的な見方・考え方に触れることが可能となる。
- ・テキストマイニングを使って互いの考えを視覚的に共有することにより、話し合いの視点が明確になり、学習課題に対する意見整理を円滑に進めることが可能になる。

学習の流れ

人種や性別などの一部の価値で、人を判断するということに対して問題意識をもつ。

「本当の物語」とは何か考える。

差別や偏見のない社会の実現に向けて大切なことについて考えを共有し、深める。

今後の生活に生かせることを考える。

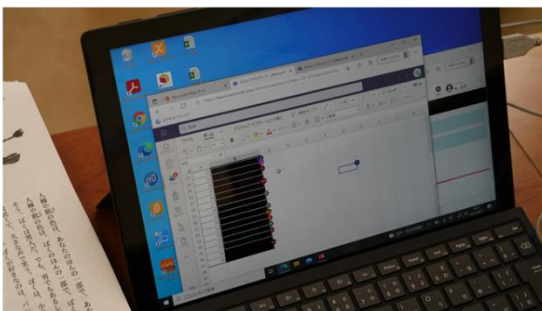
事例の概要

本授業ではまず、人種・性別・社会的地位などの「ほんの一部」の物語だけで、人を判断してしまうことについて問題提起した。生徒一人一人が問題意識をもった上で、授業に臨むことで、作者の思いから差別や偏見のない社会の実現に向けて何が大切なのかについて、自分事として捉え、考えを深めていった。

考えを深めていくに当たっては、生徒一人一人の考えを表計算ソフトを活用して、学級の考えの傾向として可視化した。可視化したものを全体に共有し、対話を行うことで、話し合いの視点が明確になり、多様な考えに触れる中で、自分の考えをさらに深めていくことができたようにした。

【中学校・3年・道徳科・「ぼくの物語あなたの物語」(C公正、公平、社会正義)】

【事例におけるICT活用場面①】



【事例におけるICT活用場面②】



ICTの活用ポイント

本授業では、学習支援ソフトを使って意見の共有を行った。共有ファイルに個人の考えを入力し、お互いに意見を見合うようにした。このことにより、生徒は、お互いの立場や多様な考えを知った上で、議論をすることができ、考えを深めることができた。また、教師も、入力できていない生徒を把握しやすくなり、机間指導の時間を短縮し、効果的に生徒への指導・助言をすることができたり、議論での意図的な指名につながりやすくなった。

また、表計算ソフトを使ったテキストマイニングで、一人一人の意見を可視化し、学級全体の意見の傾向を一目で把握することができるようになった。それにより、多数の意見だけではなく、少数の意見も取り上げやすくなり、多面的・多角的な考えにつながった。

ICT活用事例 BI（個に応じる学習）CI（発表や話し合い）

主題名 差別や偏見のない社会の実現に努めるために（第3学年C（11）公正、公平、社会正義）

教材 「ぼくの物語 あなたの物語」

使用機器：1人1台端末、電子黒板

活用したソフトや機能：学習支援ソフト プレゼンテーションソフトソフト 表計算ソフト

〈ICT活用のポイント〉

- ① 1人1台端末や電子黒板を用いて、お互いの考えを共有することで、多角的な見方・考え方に触れることが可能となる。
- ② 表計算ソフトのテキストマイニングを用いて、互いの考えを視覚的に共有することにより、話し合いの視点が明確になり、学習課題に対する意見整理を円滑に進めることが可能になる。

1 生徒の実態

新型コロナウイルスの蔓延に伴い、学校現場では従来とは異なった生活様式を余儀なくされている。生徒たちは感染症対策で友達との関わり方に不安を感じながらも、係活動や行事などで、各々の決められた役割を果たすことに加え、仲間の個性や能力を尊重し互いに協力して生活をおくっている。また、先日行われたパラリンピックの感想を書いた際には、ハンディキャップを背負いながらも懸命に競技に打ち込む選手の様子から、自分もこれからの生活の中で努力していきたいと書いている生徒が多くいた。しかし、人間関係を形成する上では、一部の生徒は他者の一面だけで相手を判断し人間関係を狭めたり、互いの優劣を意識したりして不公平な状況が起きていないかという懸念がある。本授業を通して、自分が知らず知らずのうちに偏見や差別的な考え方をもっていないかを見つめさせ、差別や偏見のない社会を実現するために大切なこととは何か、考えを深めさせたい。

2 ねらい

黒人作家ジュリアス・レスターの人種差別問題についてのメッセージを通して、差別や偏見のない社会を築くために大切な心について考えさせ、公正、公平な行動をとっていこうとする判断力を育てる。

3 教材名（出典）

「ぼくの物語 あなたの物語」（光村図書「きみがいちばんひかるとき 中学道徳3」）

4 考えさせたいこと

「本当の物語じゃない」事例について、なぜ本当の物語じゃないか考えさせる。次に、「本当の物語」を知ることが、差別や偏見のない社会の実現にどのように繋がっていくかについても考えさせる。

5 学習指導過程

過程	学習活動と主な発問（〇◎）	・予想される児童生徒の発言	□指導上の留意点（ICTの活用）
導入	1. 朝読書でP86を読む。 2. 自分の物語を書くことについて考える。		・考える時間や意見交換の時間を多く取るため、朝読書の時間に指定した

3分	<p>電子黒板に提示する。①</p> <p>ぼくは、一つの物語。人間は誰でも、物語をもっている。その物語の始まりは、たいいていこうだ。「私が、生まれたのは・・・。」</p> <p>○自分の物語を書く上で、あなたはどんなテーマを書きますか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・住まい ・通っている学校 ・家族 ・習い事 ・部活 ・夢など 	<p>ところまでしっかり確認させる。</p>
展開 10分 25分	<p>3. 本文の続きを読む。(P87～)</p> <p>4. 「本当の物語」とは何かについて考えさせる。</p> <p>○「私は、いい場所に住んでいるから、あなたたちより上だ。」・・・。どれも、本当の物語じゃないよね？ そう思わない？とはどういうことですか。</p> <p>(補) 本当の物語ってなんですか。</p> <p>5. 差別や偏見のない社会の実現に向けて考えを深める。(電子黒板②)</p> <p>◎作者がこの文章に込めた思いとは何だと思いますか。</p> <p>(補) 他の人の意見を聞いてどう思った。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「いい場所に住んでる」「いい学校に行っている」ことで上下関係を作るのは正しくないから。 ・その人のさまざまな物語を知らずに、ほんの一部だけでその人を判断できないから。 ・外見だけでは、その人についてわからないから。 ・表面的なことだけやその人の一部だけでなく、すべてを集めて作られたもの ・人種や肌の色などで、偏見や差別をしない。 ・一つの表面的なことでもその人のことを勝手に決めつけない。 ・みんな人それぞれだということ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人と関わる際に目を向けるべき視点について考えさせる。 ・生徒の考えをキーワード(名詞)化させる。 ・キーワード化したものを1人1台端末に記入させ、お互いの考えを1人1台端末上で見合うことができるようにする。 ・テキストマイニングを活用しキーワード化したものを出題頻度で、文字の大きさを変化させて提示する。
終末 12分	<p>6. 今後の生活に活かせることを考える。</p> <p>○今日の授業を受けて、今後の生活に活かせることを書いてみよう。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・学んだことを振り返りシートに記述するように促す。

6 評価の視点

- ・差別や偏見をなくすために大切な公正・公平な考え方について、教材や他者の意見など、さまざまな視点から考えようとしているか。
- ・差別や偏見のない社会をつくるための、一人一人がもつ考えや行動について自分のこととして捉え、考えようとしているか。

7 学習指導の様子（ICTの効果的な活用について）

導入部分では、「自分の物語を書く上で、あなたはどんなテーマを書きますか。」という問いから、教材が持つ主題（テーマ）へと話題をつなげていった。プレゼンテーションソフト（電子黒板①）を活用することで、何について考えるのかを視覚的に捉えることができ、板書に要する時間も短縮することができた。

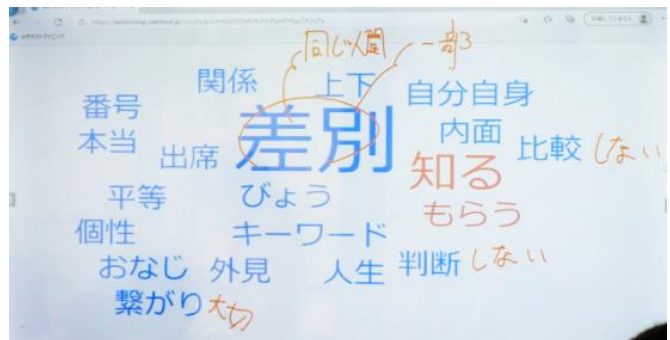
主発問では「作者がこの文章に込めた思い」について考える際、1人1台端末を活用し、各自の考えを学習支援ソフトの表計算ソフトに入力させ、テキストマイニングを使って意見の傾向を可視化した（電子黒板②）。以前はこの作業は、ホワイトボードを使用してグループごとに意見交換していたが、1人1台端末を活用することで、全員で考えを即時に共有できるようになった。自分の考えとの相違点や共通点に気付くことで自身の考えを再検討することにつながっている。また、生徒たちが視覚的に他の生徒の意見を確認でき、どの生徒も興味を持って授業に参加していたようにも感じた。一方で、文字入力を誤ったり、タイピングの習熟度によって入力時間に差が生じたりするという点が課題として挙げられる。機能としては優れており、様々な面で効果的であると感じたが、生徒が1人1台端末の使い方に慣れていく必要があることも実践してわかった。引き続き1人1台端末の活用を行っていくが、メリットとデメリットを理解した上で、より効果的な授業づくりを行っていきたいと思う。

8. 板書計画・授業プリントなど

電子黒板①

電子黒板②

ぼくは、一つの物語。
人間は誰でも、物語をもっている。
その物語の始まりは、たいていこうだ。「私が、生まれたのは・・・。」



【板書】

本当の物語って？

- 「ぼくの物語 あなたの物語」
- ！. 本当の物語ではないとは、どうこと？
- ・ 上下関係を作るのは正しくない。
- ・ 一部だけでその人の判断をできないから。
- ・ 外見だけではわからないから。

「ぼくの物語 あなたの物語」(C-11)

組 番 名前 _____

1. 「私は、いい場所に住んでいるから、あなたたちより上だ。」……。どれも、本当の物語じゃないよね？ そう思わない？ とはどういうことですか。

2. 作者がこの文章に込めた思いとは何だと思えますか。

キーワード：

